

# 仙台市教員プレゼミナール

共に踏み出すはじめての一步 ~あなたを待っている  
子供たちがいる~

第3回 「魅力ある学級づくりのために」「養護教諭になること①」

令和5年12月14日(木) 発行

仙台市教育委員会 教育センター 若手教員支援室

## 子供たちとの出会いに向けて

第3回のテーマは「魅力ある学級づくりのために」でした。3回目の参加者は、64名になりました。熱心に学級経営のポイントを学び、リレーションの実際を体験する様子が見られました。また、今回は養護教諭を対象とした「養護教諭になること①」を同時開催しました。参加者は、3名でした。なお、現在プレゼミナールの申し込み総数は108名となっております。

「魅力ある学級づくりのために」

### 1 「学級経営のポイント」 2 「リレーションの実際」

学級経営を充実させるポイントの集団づくりや授業づくりについて、具体的な演習を通して学びました。後半は、4月からすぐに教室で活用できるリレーション(親和的な交わり)について、受講者同士で体験しながら集団づくりの大切さや子供たちと信頼関係を構築する方法を学びました。



### 3 「子供たちとの出会いに向けて」

小学校の先生3名、中学校の先生2名を講師として、子供たちとの出会いに向けた学級経営のポイントについて話を聞いたり体験を通して学んだりしました。赴任から子どもたちと会うまでの準備や、学級開きの実際、そして、4月初めの自己紹介の方法や学級経営のポイント等について、たくさんのことを学びました。先輩となる学級担任の先生から直に話を聞くことで、4月のイメージをより具体的に持つことができました。



### 〈受講者の声〉

〇今日来てよかったと心から思うほど勉強になった日だった。前半に学んだ学級開きの方法だとか考え方などがすごく楽しかった。大学生の私でも楽しめるということは、小学生はもっと楽しく感じると思う。ぜひ4月から実践したい。後半の講義で学んだことも非常に参考になった。ラッキークリップや TODO リスト、児童の顔と名前を覚えるためのカードづくり、教師同士の助け合いなど、絶対に真似します!資料も何度も見返し、4月から堂々と教壇にたち、楽しい学級づくりをしていきたいです。



○学級開きなどで子供との信頼関係を築くためのリレーションの方法を、自分たちで体験する中で、それぞれの活動の良さを実感することができました。私自身も、周りの受講者の方々とより親しくなれたと思っています。また、ルールを徹底することも子供の安心感や信頼関係に繋がることが分かりました。3コマ目の講義でお話があったように、身の回りの環境を常に整えておくことが安定した学級経営に必要と学び、子供の自主性を育むことと合わせて心掛けたいと思いました。

初日までにすべきことについてもたくさん教えて頂けたので、4月までの間を有意義に過ごしたいと思います。○12月に入り、1回目のプレゼминаールの時よりもより4月からを見通しながら、受講することができました。学級づくりや授業づくりについて学びましたが、特に学級開きのお話を聞いたときに、3月までの準備がとても大切だと感じました。私の場合、なんとなく「こういうクラスにしたい」という気持ちはありますが、こうしたという要素が絞れておらず、明確にビジョンが持てていません。だからこそ、残りの大学生活のうちに、このプレゼминаールやボランティアなどから、こうしていきたいという思いをしっかりと持っていきたいです。また、これまで漠然とした不安だったものが、これからどんなことをしていかななくてはいけないのかということなどが、とても具体的に知ることができ、とても勉強になりました。学級開きの際の教師の自己紹介や校務分掌など、ボランティアや実習では見ることでできなかった部分を知ることができたため、不安が解消されていくように感じます。できないことやわからないことがあるのは当然ですが、それを先輩の先生方に積極的に質問する力を大切にしながら、子どもたちのために頑張りたいです。ありがとうございました。

○今回も大変勉強になりました。現場の先生からは、来週から実践できる、具体的な【ほめ方のタイミング】について教えていただきました。私は、その場ですぐにほめたくるので、すぐにその場で伝えたほうがいいのかなど思いましたが、実は教師が【ねらい】を持っているとあえて、ほめるを温めて伝えることも効果的ということを知り衝撃を受けました。改めて、この研修の会場に来ないとわからないことがあると感じました。指導主事の先生同士のデモンストレーションもまるでお笑い芸人のように面白く、教師は演技者だと肌で感じました。次回も楽しみに、自分も実践しよう、頑張ろうと思いました。多忙の中、ご準備してくださり、ありがとうございました。

○学級づくりが一番不安だったこともあり今回の講義はとても有意義でした。前半の部分では近くの人とお話する機会が多く三回目ですが初めて交流する方もいて色々な情報交換もできよかったです。生徒は第六感がよくはたらくと知り、少し不安はありましたが、ユーモアも大事ということで生徒との良好な人間関係を築いていけたらと思います。後半の現任先生の講義では、実際の学級作りをする上でのポイントであったり、先生独自の工夫など聞いて、これを活用しながら自身の学級づくりに生かしたいと思いました。

## 「養護教諭になること①」

### 1 「保健室の1年」

養護教諭として保健室経営の1年の見通しや1日の流れについて、教育委員会の講師より具体的な資料を通して学びました。少人数の講座であることを生かし、質問をするなど、より具体的なイメージを持つことができました。

#### 〈受講者の声〉

○今回初めて参加し、同じ立場にある受講生とお話したり、リラックスした雰囲気でも講義を聴くことができると、貴重な経験をすることができました。特に、着任時に養護教諭としてどのように動けば良いのか、何も分からない状態であったため、1年を通した流れや服装・物品の取り扱い方などの細かいところまで知ることができ、少し安心した状態で仕事に向かうことができるのではないかと感じています。何か不安なことがあれば、近隣校の養護教諭や学校の先生方、教育委員会など、様々な相談先があることも知ることができたので、参加できて良かったです。本日はありがとうございました。



**プレゼминаールは、3月まであと5回あります。年が明けてからでもいつでも参加申込はできます。関心を持たれた方はお申し込みください。第4回「仙台市の先生になること」は、1月13日（土）開催です。**